



ちばの大地で 農業を始めた人の 手引書

—令和7年度版—



千葉県

はじめに

千葉県は、温暖な気候と首都圏に位置する立地条件に恵まれ、また、担い手の高い技術と意欲に支えられ、全国屈指の農業県として発展しています。しかし、近年では、担い手の減少や高齢化が進んでおり、生産力の低下など様々な問題に直面しています。今後、千葉県の農業を維持・発展させていくためには、新たに農業に取り組む方（新規就農者）の活躍が不可欠です。

このため、希望する方が円滑に就農することができるよう、就農相談窓口を県内 14か所に設置し、就農関連情報の提供や就農相談会の開催などを行っています。また、新規就農者への就農前後の資金交付、農業機械・施設の導入に対する支援、就農後の農業経営の発展に資するセミナーの開催なども行っているところです。

本書は、千葉県内への就農を希望する方に向けて、必要な基礎知識や各種支援策などを紹介したものです。本書を活用するなどして、一人でも多くの方が県内で就農し、将来、千葉県農業の担い手として活躍されることを期待しています。

千葉県内への就農について御不明点等があれば、就農相談窓口に御相談ください。お待ちしています。

令和 7 年 8 月

農業経営・就農支援センター（千葉県）

（就農相談窓口）

千葉県（農林水産部担い手支援課
及び各農業事務所）
公益社団法人千葉県園芸協会
一般社団法人千葉県農業会議
千葉県農業者総合支援センター

目 次

1 新たに農業を始めたい方へ	1
2 千葉県の農業	2
3 就農するまでのみちすじ	5
4 就農についての情報収集	7
5 仕事としての農業を体験してみる	9
6 農業の知識や技術を身につける	11
7 農業法人等に就職する（雇用就農）	18
8 自ら農業経営を開始する（独立・自営就農）	20
【参考1】農業経営の指標（作物ごとの経営をイメージするために）	24
【参考2】営農計画表（参考）	34
9 新規就農を支援する様々な仕組み	38
10 営農計画の実現や更なる経営発展を目指す	46
11 就農体験談	47
12 新規就農に係る相談窓口	51

1 新たに農業を始めたい方へ

農業はやりがいのある魅力的なしごと！

農業は、四季の変化を感じながら自然の中で働く魅力ある産業です。人類にとって必要不可欠な「食」を支える達成感のある仕事でもあります。近年は生産のみならず、6次産業化や農泊など様々なジャンルに挑戦している農業者も増加しています。

しかしながら、農業は決して楽な仕事ではありません

農業は自然が相手の仕事です。天候に左右されることはもちろん、不安定な経営を強いられることもあり、様々なリスクを伴います。また、農業は機械の購入費や施設の整備費などの初期投資がかかる先行投資型の産業と言われています。初期投資の資本を回収するためには歳月がかかります。

また、農業を続けるには身体の健康は必要不可欠です。機械化が進んできている品目もありますが、体力が必要な場面も数多くあります。

資金のこと

ハウスの建設や農機具の購入などの設備資金のほか、種苗代や農薬代など、1年間営農するための運転資金が必要です。また、農業を始めたからといって、すぐに収入が得られるものではないため、毎日の生活資金も必要となります。まずは、生活資金を含めた資金計画を立てましょう。

農地のこと

大部分の人が農地の確保に苦労しています。農家にとって農地は大事な財産です。全く面識のない人に農地を貸すことに抵抗感をもっていることがほとんどです。農地を確保するためには、周囲の農家と顔見知りになり、信頼関係を構築することが大切です。農地を継続的に利用できるように、地域活動に積極的に参加してその地域社会との関係を構築するようにしましょう。

知識・技術のこと

農作物を生産・販売し、収入を得るために、農業についての知識・技術の習得が必要です。自治体が実施している研修の利用や、将来的に独立をサポートしてくれる農業法人等で働きながら学ぶなどして、農業技術を身につけましょう。

家族の理解と協力

家族は一番の支援者になります。必ずよく相談しましょう。1日当たりの労働時間が季節によって変わったり、休日が不規則になったり、収穫の時期は朝から晩まで働き詰めになったりと生活環境の変化が起こることもあります。特に収穫期など、農作業と余暇の両立が難しい時期があることも想定しておく必要があります。家族全員の理解を得ることはもちろん、ライフプランについてもよく話し合いましょう。

本書では農業を始めるためのみちすじから経営発展に至る各過程で参考となる項目について解説しています。本書を通じて理解を深めましょう。

2 千葉県の農業

全国屈指の農業県

千葉県は、温暖な気候と首都圏に位置する立地条件に恵まれた全国屈指の農業県です。野菜・果実・花きなどの園芸作物を中心とした農業が盛んです。

農業産出額と主な部門別の産出額（令和5年） 単位：億円

農業産出額	主な部門別						
	米	豆類	いも類	野菜	果実	花き	畜産
4,029(全国4位)	569	69	212	1,336	108	200	1,501

資料：生産農業所得統計（農林水産省）

農業生産関連事業（農産加工、農産物直売所、観光農園など）が盛ん

千葉県には、数多くの農産物直売所があり、販路の1つとして活用されています。また、観光農園の開設や農産物の加工を行っている農業者もいます。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数（令和5年度） 単位：百万円（上）、事業体（下）

	計	内訳				
		農産加工	農産物直売所	観光農園	農家民宿	農家レストラン
年間販売金額	85,247 (全国4位)	24,139	57,041 (全国1位)	2,285 (全国3位)	155	1,626
事業体数	2,500 (全国4位)	870	1,240 (全国1位)	320 (全国3位)	20	40

資料：6次産業化総合調査（農林水産省）

新規就農者の状況

千葉県には、49歳以下の新規就農者が多くいます。新規参入者（土地や資金を独自に調達し、新たに農業経営を開始した者）の営農類型をみると、初期投資の少ない露地野菜が最も多く、次いで施設野菜、果樹が多くなっています。

新規就農者数（令和5年度） 単位：人

計	就農形態別内訳				出身別内訳	
	49歳以下	新規自営農業就農者	新規雇用就農者	新規参入者	農家	非農家
321	281	76	107	138	110	211

資料：千葉県

・新規自営農業就農者：農家世帯員で自家農業を継承して就農した者及び親元に就農した者

・新規雇用就農者：農業法人等に雇用されて就農した者

・新規参入者：非農家出身の新規就農者（雇用就農者は除く）及び農家出身で実家の農業経営とは別に農業経営を開始した者

地域農業の概要

千葉県が産出額全国第1位の主な農産物（令和5年）

鶏卵	504 億円	かぶ	27 億円
日本なし	81 億円	マッシュルーム	29 億円
だいこん	96 億円	らっかせい（からつき）	68 億円
さやいんげん（未成熟）	45 億円		

資料：生産農業所得統計（農林水産省）



<p>① 千葉地域</p> <p>大消費地に近い都市農業地域では、にんじん・ねぎ等の野菜や、日本なし等の果樹の集約的生産が、平地農業地域では水稻、だいこん等の野菜生産が盛んです。また、中間農業地域では、直売向け野菜や特用林産物の生産のほか、畜産の大規模経営が営まれています。</p> <p>○主要作目：水稻、にんじん、だいこん、ねぎ、日本なし</p>	<p>② 東葛飾地域</p> <p>大消費地に近い都市農業地域で、日本なし、ねぎ、こかぶ、にんじん、えだまめなどの産地です。また、消費者ニーズを捉えた直売のトマトやいちご、花きなども生産されています。さらに、利根川や手賀沼周辺では、水稻などが生産されています。</p> <p>○主要作目：日本なし、ねぎ、こかぶ、にんじん、えだまめ、水稻</p>
<p>③ 印旛地域</p> <p>関東ローム層と呼ばれる火山灰土壌に覆われた北総台地が広がっており、野菜や果樹が生産されています。また、利根川や印旛沼沿岸の低地では水稻が作付けされ、県内屈指の農業地帯となっています。</p> <p>○主要作目：すいか、トマト、にんじん、さつまいも、さといも、やまといも、日本なし、らっかせい、水稻</p>	<p>④ 香取地域</p> <p>北部の利根川沿い、南部の栗山川流域は肥沃な水田地帯であり、千葉県を代表する穀倉地帯を形成しています。また、中央部の北総台地では、さつまいも、やまといも、こかぶ、にんじん等の露地野菜を中心に、施設野菜、果樹、花き等の生産が盛んです。</p> <p>○主要作目：水稻、さつまいも、やまといも、こかぶ、にんじん、畜産（養豚）、マッシュルーム</p>
<p>⑤ 海匝地域</p> <p>銚子市、旭市、匝瑳市にまたがる県内一の農業地域です。大型ハウスによる野菜、花き等の施設園芸、大規模経営による露地野菜、酪農・肉牛・養豚・養鶏の企業的畜産経営、営農組織や大規模農家による水稻が盛んです。</p> <p>○主要作目：露地野菜（キャベツ、だいこん、ねぎ、メロン）、施設野菜（きゅうり、トマト、いちご）、水稻、畜産、植木、花き、鶏卵</p>	<p>⑥ 山武地域</p> <p>九十九里平野では稲作を中心とし、地域特産のねぎ等の露地野菜、トマト、いちご等の施設野菜が生産されています。また、台地の畑地帯は、にんじん等の露地野菜を主体に、施設野菜、花き等が生産されています。</p> <p>○主要作目：水稻、ねぎ、にんじん、トマト、きゅうり、いちご</p>
<p>⑦ 長生地域</p> <p>西部地区では稲作を中心とし、ねぎやいちじく、れんこん等が生産されています。また東部地区ではトマト、きゅうり、いちご等の施設野菜、ねぎやたまねぎの露地野菜、日本なしや花きといった園芸品目がバランスよく栽培されています。</p> <p>○主要作目：水稻、トマト、きゅうり、いちご、ねぎ、たまねぎ、れんこん、日本なし、いちじく</p>	<p>⑧ 夷隅地域</p> <p>稲作を中心とし、日本なし、ブルーベリー等の果樹生産をしています。近年ではいちご、ハーブ等の施設野菜や中山間地でも栽培可能な枝物、草花の栽培が始まっています。また畜産は農業生産額の約6割を占めており、管内農業の主要な部門となっています。</p> <p>○主要作目：水稻、日本なし、なばな、ブルーベリー、畜産、鶏卵</p>
<p>⑨ 安房地域</p> <p>豊かな自然と温暖な気候のもと、花きやびわ等の多彩な特産品が生産されています。加えて、水田裏作でのなばな、レタスや、地域に酪農経営体が多いことから、飼料作物の栽培も盛んです。また、地域内に多くの道の駅や直売所が点在しています。</p> <p>○主要作目：花き類、なばな、レタス、びわ、かんきつ、畜産（酪農）、水稻</p>	<p>⑩ 君津地域</p> <p>水稻を中心にレタス、さやいんげん、だいこん等の野菜が栽培されています。湧水を使った湿地性カラーは、全国有数の生産地です。他に日本なし、いちご、ブルーベリー、えだまめ等が栽培されています。</p> <p>○主要作目：水稻、レタス、さやいんげん、だいこん、キャベツ、日本なし、ブルーベリー、湿地性カラー、鶏卵</p>

3 就農するまでのみちすじ

千葉県内で就農するまでの一般的なパターンは、以下のとおりです。

(実際には、農業経験の有無などにより、これ以外のパターンになる方もいます。)

検討

● 就農についての情報収集 (7 ページへ)

就農に向けて必要な準備などについて、情報を集めましょう。

● 仕事としての農業を体験してみる (9 ページへ)

就農のイメージと農業への適性を確認するため、農業を体験しましょう。

相談

準備

● 農業の知識や技術を身につける (11 ページへ)

希望する品目等で求められる知識や技術を身につけましょう。

● 就農のタイプを決める

就農のタイプは、農業法人等に就職する「雇用就農」、自ら農業経営を開始する「独立・自営就農」、親や親族が営む農業経営に参画する「親元就農」の3つに分類されます。

就農のタイプで必要な準備が異なるため、自分がどのタイプで就農を目指すかを決めましょう。

◆ 農業法人等に就職する (雇用就農) (18 ページへ)

事前に農地や開業資金を準備することなく、就農することができます。雇用就農の後、独立・自営就農に移行する方もいます。

◆ 自ら農業経営を開始する (独立・自営就農) (20 ページへ)

就農までに様々な事前準備が必要です。就農後も経営安定・発展を図る必要がある一方で、大きなやりがいもあります。

◆ 親や親族が営む農業経営に参画する (親元就農) ※

親などが築いた、経営資産や地域との信頼関係を引き継ぐことができます。※新規就農に係る相談窓口 (51 ページ参照) でご相談ください。

新規就農に係る相談窓口 (51 ページへ)

御不明点等があれば、お気軽にご相談ください。

就農

● 営農計画の実現や更なる経営発展を目指す (46 ページへ)

県農業事務所や市町村、地域の関係団体との関係を保ちながら、営農計画を実現し、更なる経営発展を目指しましょう。

